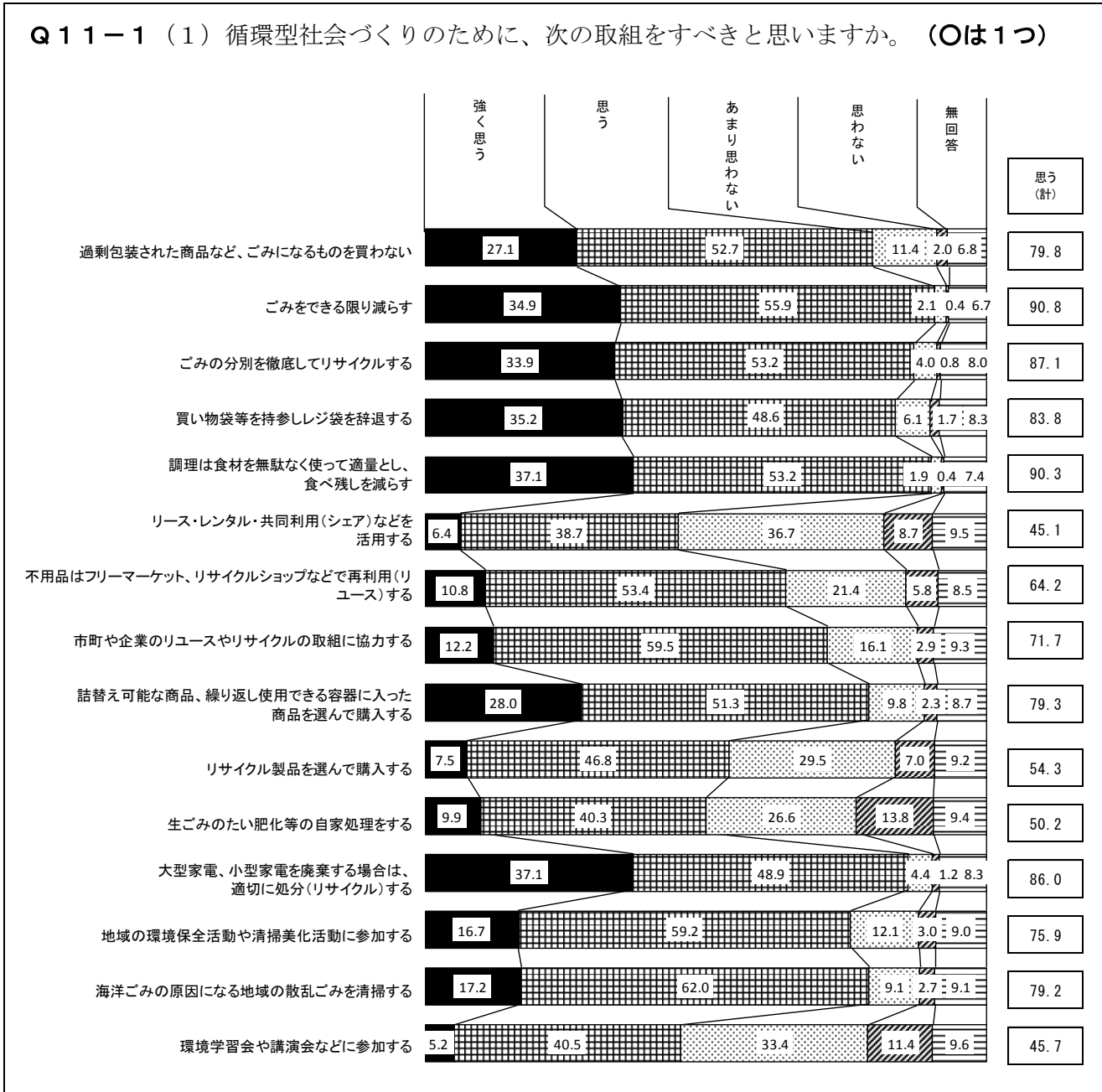


1 1. 循環型社会について

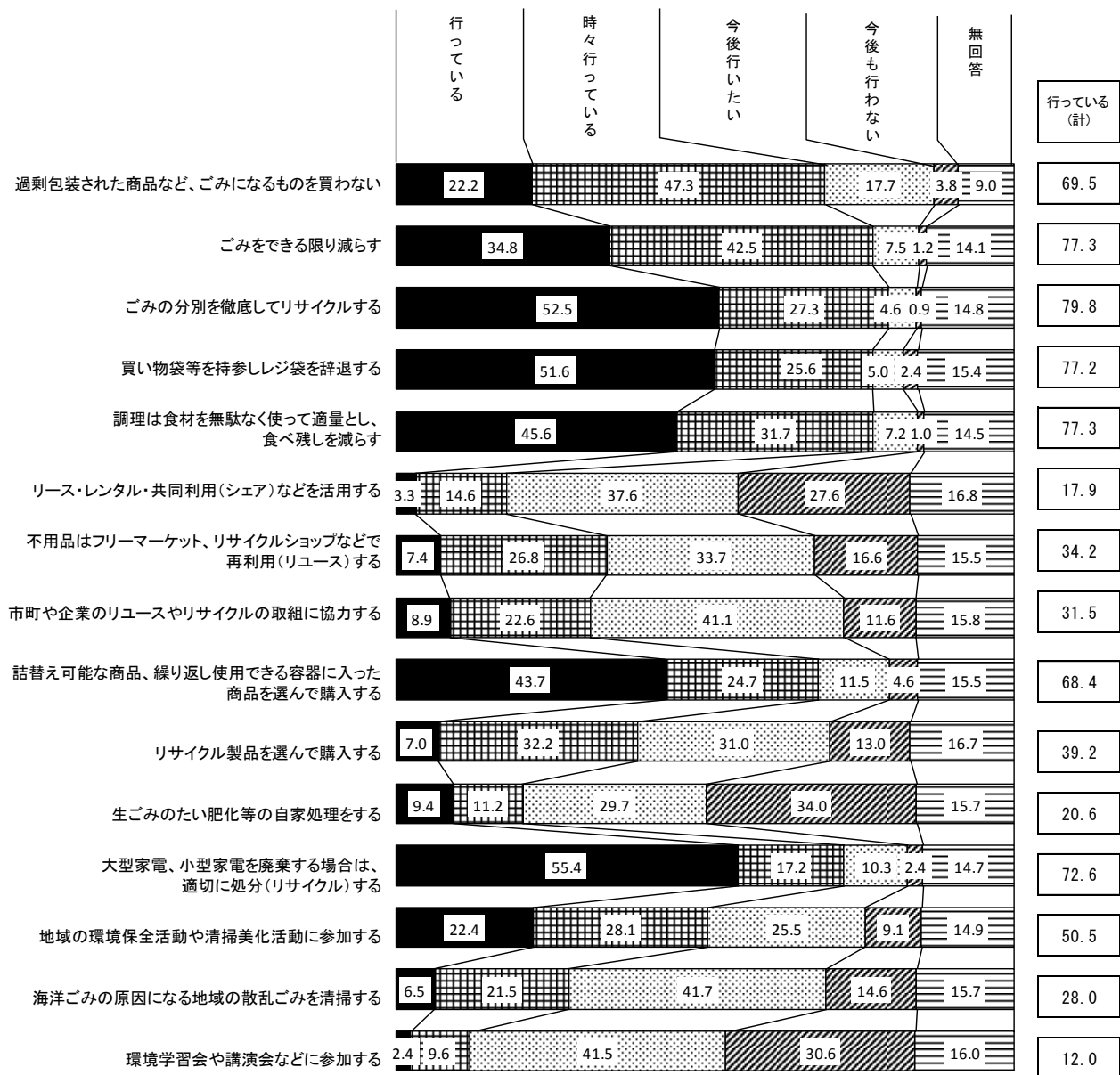
「循環型社会づくり」とは、大量生産・大量消費・大量廃棄を改め、廃棄物をなるべく出さず（発生抑制）、できるだけ資源として再利用し（リサイクル）、利用できない廃棄物は適正に処分することで、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り減らす社会づくりのことをいいます。

1 1-1. 循環型社会づくりのために実施すべきと考える取組及び実施状況



循環型社会づくりのために実施すべきと考える取組について、「強く思う」と「思う」を合わせた『思う(計)』は「ごみをできる限り減らす」が90.8%で最も高く、次いで「調理は食材を無駄なく使って適量とし、食べ残しを減らす」が90.3%、「ごみの分別を徹底してリサイクルする」が87.1%の順となっている。

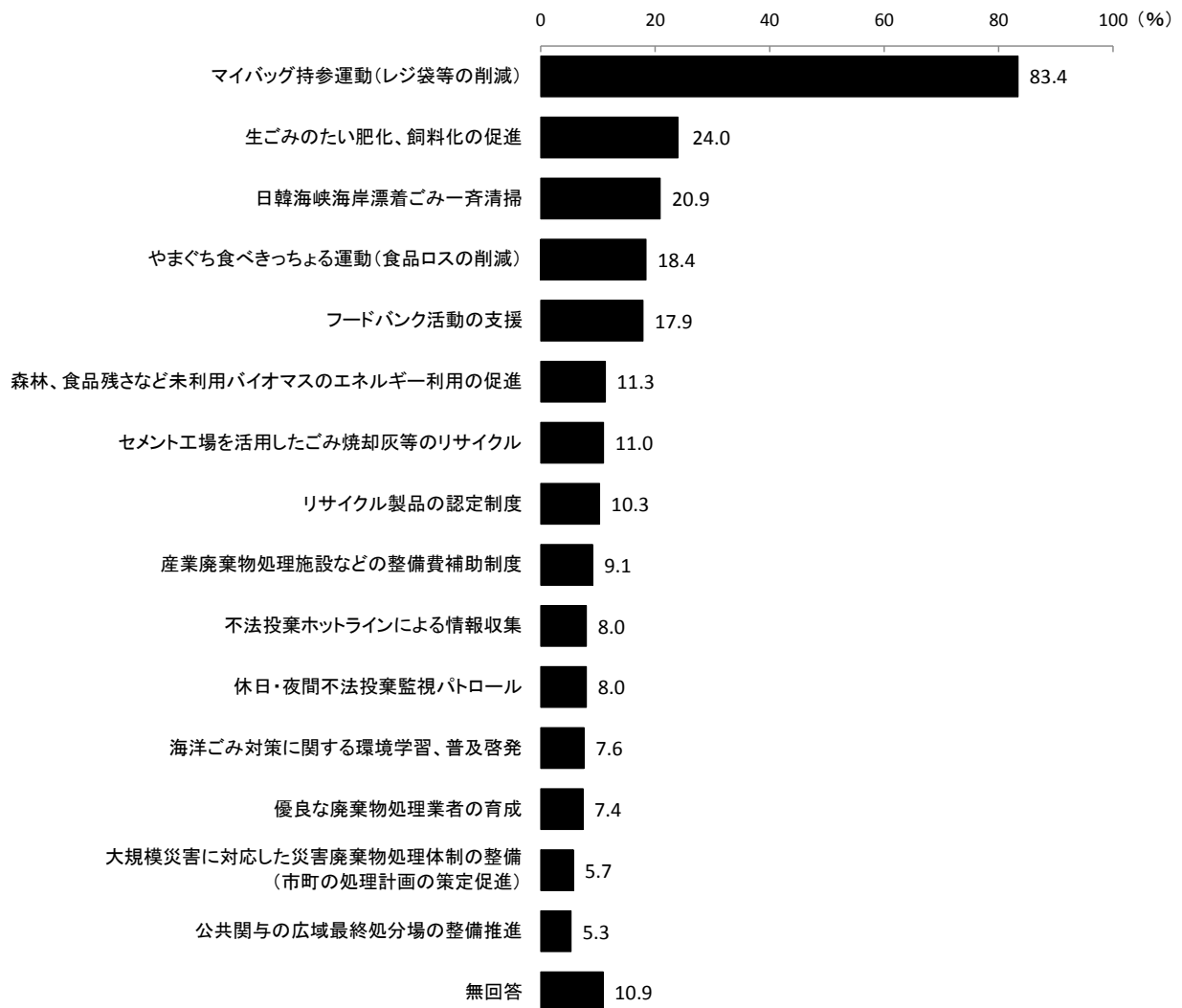
Q11-1 (2) あなたは、日常的に次の取組を行っていますか。(〇は1つ)



日常的に行っている取組について、「行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている(計)』は「ごみの分別を徹底してリサイクルする」が79.8%で最も高く、次いで「ごみをできる限り減らす」と「調理は食材を無駄なく使って適量とし、食べ残しを減らす」が77.3% (同率)、「買い物袋等を持参しレジ袋を辞退する」が77.2%の順となっている。

11-2. 循環型社会づくりに向けた県の取組の認知状況

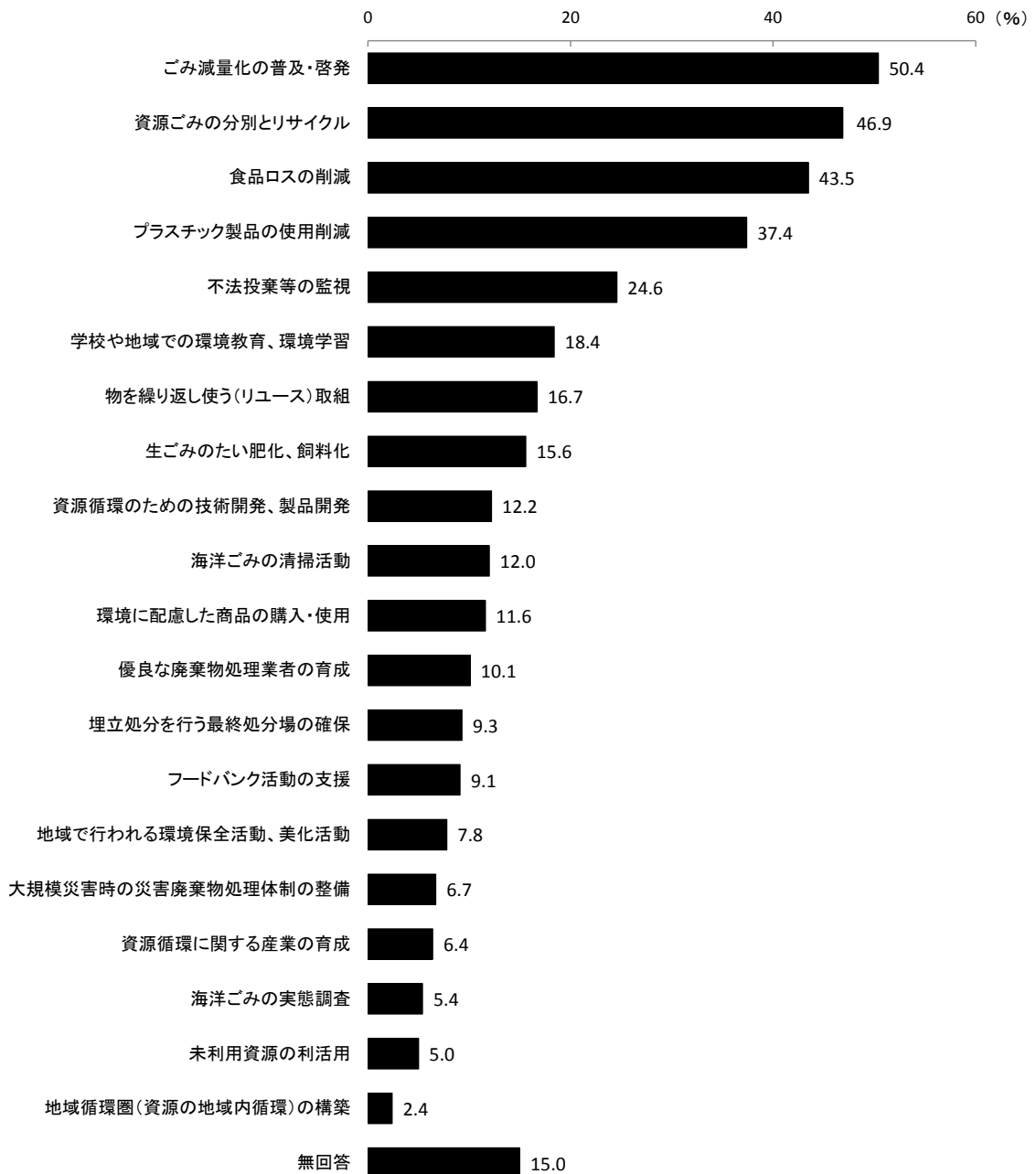
Q11-2 循環型社会づくりに向けた県の取組のうち、どの取組をご存じですか。(〇はいくつでも)



循環型社会づくりに向けた県の取組で知っているものは、「マイバッグ持参運動（レジ袋等の削減）」が 83.4%と突出して高く、「生ごみのたい肥化、飼料化の促進」が 24.0%、「日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃」が 20.9%、「やまぐち食べきっちよる運動（食品ロスの削減）」が 18.4%、「フードバンク活動の支援」が 17.9%の順となっている。

11-3. 循環型社会づくりのために、今後強化すべきと考える取組

Q11-3 あなたは、循環型社会づくりのために、今後どのような取組を強化する必要があると思いますか。（〇は5つまで）



循環型社会づくりのために、今後強化すべきと考える取組は、「ごみ減量化の普及・啓発」が50.4%で最も高く、「資源ごみの分別とリサイクル」が46.9%、「食品ロスの削減」が43.5%、「プラスチック製品の使用削減」が37.4%、「不法投棄等の監視」が24.6%の順となっている。